

2025 年 8 月 25 日

各 位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 代表執行役社長 荻野 明彦  
(コード番号 8601 東証プライム・名証プレミア)

**国内最大規模の不動産セキュリティトークン  
「ケネディクス・リアルティ・トークン W OSAKA(デジタル名義書換方式)」の引受  
及び累計引受額 600 億円への到達について**

このたび、株式会社大和証券グループ本社(以下、「大和証券グループ本社」)傘下の大和証券株式会社(以下、「大和証券」)は、ケネディクスグループ(ケネディクス株式会社及びその関連会社の総称)が発行・運用する資産裏付型セキュリティトークン<sup>1</sup>(以下、「本件 ST」)の募集における引受事務主幹事を務めましたので、その概要についてお知らせいたします。

本件 ST は、発行額約 291 億円となり、国内における不動産セキュリティトークン(以下、「不動産 ST」)としては過去最大規模の発行を実現した案件です。大和証券グループ本社は、本件 ST の取扱いを通じて、デジタル証券分野における先駆的な取り組みを加速させ、投資家の皆様に新たな不動産投資機会を提供してまいります。

#### 1. 本件 ST の概要

大和証券が引受事務主幹事を担当した「ケネディクス・リアルティ・トークン W OSAKA(デジタル名義書換方式)」は、大阪市中央区にあるホテルを裏付け資産とする不動産 ST です。本件 ST の発行額は約 291 億円であり、これまで国内で発行された不動産 ST の中で最大規模となります。

本件 ST は、金融商品取引法上の有価証券として発行され、株式会社 Progmatt が運営する ST 発行プラットフォームにて発行・管理されます。投資家の皆様は、本件 ST を通じて、これまで機関投資家向けに限定されていた大型不動産への投資機会を得ることが可能となります。また、本件 ST は将来的には大阪デジタルエクスチェンジ株式会社が運営する PTS「START」での取扱いも予定しており、流動性の向上も期待されます。

なお、本件 ST の引受額を含めた大和証券の資産裏付型セキュリティトークンの累計引受額は 607 億円であり、2025 年 8 月 22 日現在、大和証券は金額ベースで国内トップクラスのシェアを有しています。

#### 2. 本件 ST の意義・背景

国内の不動産 ST 市場はいまだ黎明期にありますが、ブロックチェーン技術の進化とともに、

---

<sup>1</sup> 「資産裏付型セキュリティトークン」とは、不動産、再生エネルギー等の資産を裏付けとした、有価証券の性質を有するトークンであり、ブロックチェーン等の先端技術を活用して発行・管理される金融商品。我が国においては 2020 年 5 月 1 日に施行された改正金融商品取引法及び関連する政府令の改正施行により「電子記録移転有価証券表示権利等」として規定された。

更なる成長の可能性を秘めております。大和証券グループ本社は、セキュリティトークンオフリング及びブロックチェーン技術を、中期経営計画「“Passion for the Best” 2026」において経営方針として掲げる「お客様の資産価値最大化」の実現に資する重要技術であると位置づけ、これまで培ってきた金融・証券ビジネスの豊富な経験と知見を活かし、この成長市場においてマーケットを切り開く先駆的な役割を果たすことを目指してまいりました。

本件 ST は、国内不動産 ST として過去最大規模の発行を実現したことで、不動産 ST 市場の発展と活性化に大きく貢献するものと考えております。本件 ST の引受を通じて、ブロックチェーン技術を活用した不動産投資商品の普及を推進し、投資家の皆様に新たな選択肢を提供するだけでなく、不動産投資市場全体の利便性向上や効率化にも寄与し、健全で魅力的な市場の構築に貢献してまいります。

大和証券グループ本社は、今後も「金融・資本市場のパイオニア」として、ブロックチェーン等の先端技術を活用し、事業会社のお客様に対しては、保有資産のセキュリティトークン化等を通じた多様な資金調達手段の提供を、投資家のお客様に対しては、資産裏付型 ST による魅力的な投資機会の提供を行い、「お客様の資産価値最大化」に貢献してまいります。

なお本件 ST は、金融商品取引所が定める適時開示基準に該当いたしません。

以上

※本書面は、資産裏付型 ST の取扱いについて、一般向けの公表のみを目的としたプレスリリースであり、日本国内外を問わず個別の金融商品等への募集・勧誘を目的とするものではありません。